

## 病院再編統合の諸問題

飯塚 清志 議員

**質問** 建設予定地は、公共交通機関もなく、斎場近くで市民の理解は得られるのか。

**企画部長** 建設予定地は、西群馬病院側が地理的条件や交通アクセス等を考慮し、候補地として選定しました。斎場とは進入路も異なり、支障はないものと考えてい

ますが、市民の理解が得られるよう、地元説明会や広報等により周知に努めます。

**質問** 建設費110億円は高過ぎる。総合計画推進上影響はないのか。

**企画部長** 新病院の整備費用は、渋川市と西群馬病院のそれぞれの負担を軽減するため、当初計画の約13

0億円から110億円に抑えるよう協議の上変更しました。市負担額は財政上の影響を考慮し、合併特例債の活用を検討しています。

**質問** 基本契約書も示されず、市民病院としての機能は保障されるのか。

**企画部長** 新病院は、現在の西群馬病院の機能に渋川総合病院が持つ救急、災害、感染症の医療機能を統合し整備するもので、県の地域医療再生計画にも北毛地域の中核的病院として位置づ

けられています。現在、基本協定書締結に向け詰め協議を行っています。

**質問** 議会には病院に関する議案は全く上程されていない。今後議会との関係はどうするのか。

**企画部長** 住民を代表する議会に対しては、病院再編統合に関する予算や条例等の議案について、必要な時期にお願いする予定です。なお、基本協定書の締結や調整経過については、随時状況を報告します。

## 小野上最終処分場・幼稚園バス

### ・自動車借上料

平方 嗣世 議員

**ごみ最終処分場の対応は**

**質問** 小野上最終処分場については、現状認識も自覚もない市の対応である。理解を示してきた地元の善意を逆なでするもので、誠意がない。市長の認識、考えを伺う。また、放射性物質はだれの許可と指示で埋めたのか伺う。

**市長** 小野上最終処分場連絡協議会の要望事項について、一つ一つ誠意をもって問題を解決しながら対応しています。

**市民部長** 最終処分場への埋め立ては、広域組合が行っており、国の基準値以下の焼却灰の埋め立ては、許可を必要としません。

**幼稚園バス、いつ戻る**

**質問** 9月議会の市長答弁は「早急に善処する」である。かに石幼稚園通園バスが戻る日時を具体的に伺う。

**保健福祉部長** 今後も保護者の意見を伺っていききたい。  
**副市長** 時間をかけて理解を求めています。

**市長** できる限り早い時期に進めていきます。

**自動車借上料について**

**質問** 平成22年度予算20万円に対し、438%の予算超過の87万7680円。市

長41万6450円、副市長40万4500円のタクシー利用実績である。すべてが税金であり市政のための効果は。また公務と私用の判断基準を伺う。  
**総務部長** 借上げタクシーの利用は、公用車を運転する職員の時間外勤務手当の節減を図ることを目的としています。市長は市を統轄代表し、それに伴う市政の円滑な運営を図るための職務は、広範囲にわたるものです。



五輪平に保管されている飛灰



移転が計画されている西群馬病院

# 一般質問



A L T (外国語指導助手) による授業風景

## 赤城地域の都市計画法の 指定拡大について

狩野 保明 議員

**質問** 赤城地域を新たに都市計画区域に指定するため地元説明会が開催されている。指定されるとどのように変わるのか。

**建設部長** 建築確認申請が必要となることや一定規模の開発行為について、県の許可が必要となることです。  
**質問** 指定されると赤城地

域は用途地域の決定があるのか。また、都市計画税の課税はすぐ行われるのか。その税率は。

**建設部長** 用途地域の指定は考えていません。都市計画税は目的税であるため当面の間は課税しません。

**質問** 指定後の基準確認申請は新築、増築それぞれ何

平方メートルからか。確認申請先は。確認申請手数料は。また、赤城地域の車庫証明は。

**建設部長** 新築は1平方メートルから増築は10平方メートルからです。渋川市か前橋土木事務所まで申請です。手数料は建物の大きさによって異なります。車庫証明は不要です。

**質問** 赤城地域は地形上ほとんどが傾斜地です。建築確認申請と同時に、群馬県建築基準法施行条例によるがけの申請も必要になります。傾斜30度高さ2メートル以上

のがけは高さの2倍後退して建築しなければならず、現在の宅地内に建築できない場合もあるのではないかと。

**建設部長** がけの土質・形状や建築物の構造により安全性が確保できれば建築は可能です。

**質問** 傾斜地の多い長井小川田、深山、棚下地区等は、指定から除外すべきでは。

**建設部長** 開発許可制度が適用となり、乱開発や環境破壊が防止できるため、指定することが適切です。

## 学校教育現場について

田辺 寛治 議員

**質問** 施設の利活用においての小中学校適正配置準備

事業の進捗状況、統廃合の時期、メリットとデメリット、複式学級の現状、他施設との併用、学校選択制、学童クラブについて。

**学校教育部長** 基本方針の素案がまとまるところで、できる限り早く進めていく、

また2校が複式学級です。

**質問** 三者連携の現状におけるいじめ、不登校、学級崩壊の現状、マイタウンテイチャーの役割、不登校等に関する子ども家庭へのサポート体制、教職員に対するサポート制度について。

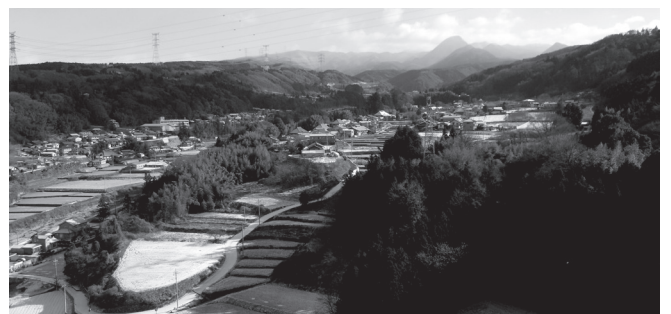
**学校教育部長** 不登校はやや減少している。今後に関

係機関と連携を図り、家庭を含めた支援に努めたい。

**質問** 小学校高学年英語必修化における指導内容及び環境整備、A L Tとの人数役割、中学校との連携、足利市の事例、中学派遣事業の成果、国語教育について。

**学校教育部長** 小学校外国語活動は、A L Tの協力の下、中学校との連携を十分図り、指導を充実したい。

**質問** 学習障害についての認定の方法、5歳児健診のモデル事業を実施した藤岡



赤城町長井小川田地区

市、嬭恋村の評価、通級指導教室の通室人数と指導内容、発達障害児の二次障害に対する支援、5歳児健診の導入を考へについて。  
**学校教育部長** 市内の3小学校に設置した通級指導教室では、市の就学指導委員会を経て保護者の承諾を得た児童を対象として、週一回程度その子の状況に応じた指導を行っています。支援が必要な幼児の小学校への接続については、よりよい方法を検討したい。